

この文書では、Win書庫V3.2を、「初めてコンピュータにセットアップする場合の作業」について説明します。

注意： 現在運用中のWin書庫V3-3.1をアップデートする場合は、別の説明書「Win書庫V3.2アップデート説明書」に従って、作業を行って下さい。

<インストールの前の確認>

- ◇ Win書庫は、インストールと同時に、ハードディスク内に、蔵書を管理する為のデータを全て作成します。従って、インストールドライブに、次の目安で「空き容量」が必要です。

蔵書管理数	必要ディスク容量
5000 冊	50 MB
10000 冊	70 MB
30000 冊	130 MB
50000 冊	230 MB
100000 冊	430 MB

- ◇ インストールドライブは、可能であれば C: ドライブを避けて下さい。もしハードディスクが、C:ドライブしか存在しない場合は、追加ハードディスクを利用するなどして、独立したドライブを準備して下さい。

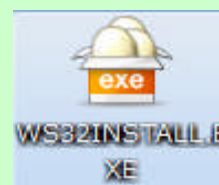
どうしても C: ドライブにインストールする場合は、「C:ドライブでのソフト運用が、Windowsシステムが不安定になる要因を与える」ことを意識していただき、データのバックアップ管理をしっかりと行って下さい。

<作業1：Win書庫V3.2インストールファイルのダウンロード>

STSのホームページの「Win書庫のページ」に、「Win書庫V3.2インストールモジュール」へのリンクがありますので、クリックして該当ファイル（WS32INSTALL.exe）を、デスクトップにダウンロード（保存）して下さい。

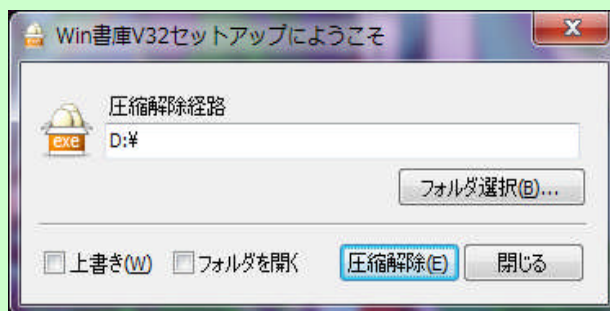
<作業2：セットアップ実行>

ダウンロードしたファイルを、ダブルクリックすると、ファイルの解凍が始まります。



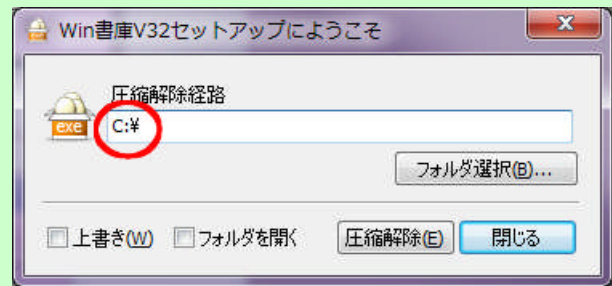
①解凍先ドライブの指定

初期設定は、D:ドライブになっています。D:ドライブが利用でき十分な空き容量があれば、D:ドライブに解凍して下さい。



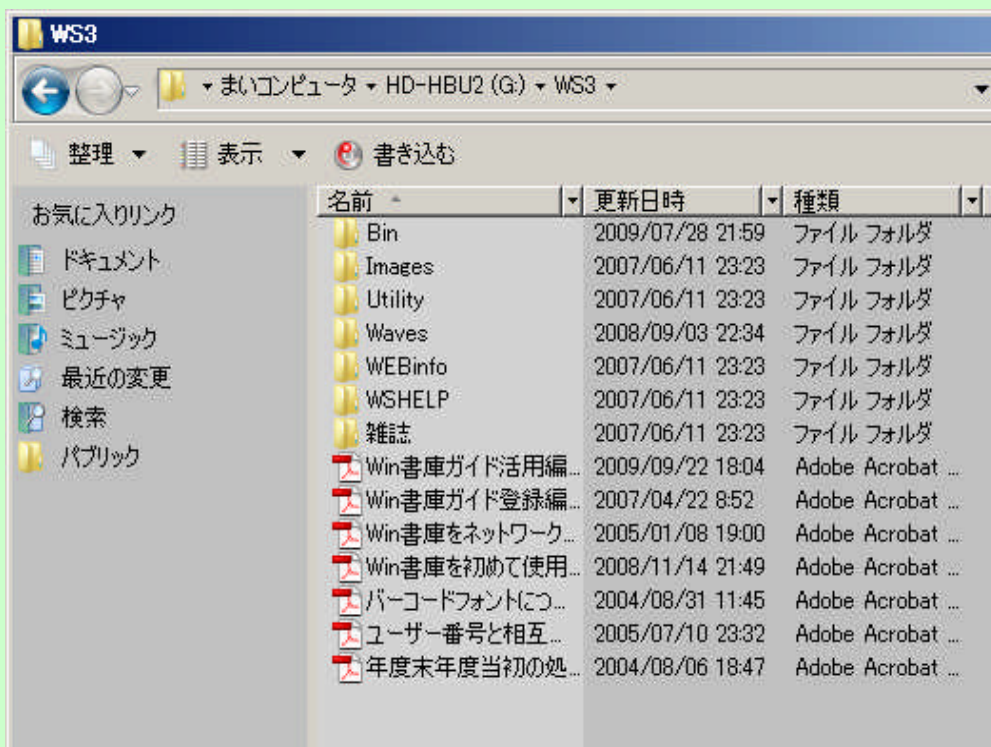
D:ドライブが利用できない場合はアルファベット1文字のみを、インストールするドライブ文字に変更して下さい。

例えば、Win書庫を Cドライブにセットアップする場合は、右の画面のように D:¥ → C:¥ と変更します。(アルファベット1文字のみを変更する)

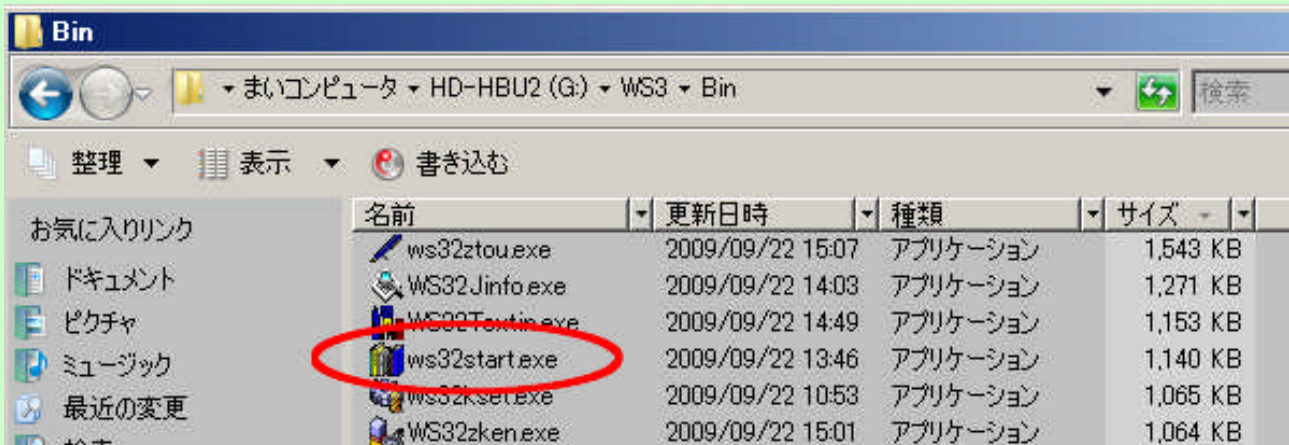


解凍が完了すると、指定したドライブに、WS3フォルダー が作られ、すべてのプログラムと各種文書ファイル、関連フォルダーが解凍されます。

WS3フォルダー内の構造 (インストールファイルにより異なる場合あり)



Binフォルダー内のシステムファイル群 (一部)



赤丸印は Win書庫起動ファイル(ws32start.exe)

<作業 3 : Win書庫V3.2の最初の起動・動作チェック>

標準ドライブD:にセットアップした場合、解凍が完了すると自動的に「Win書庫 V3.2」が起動します。

解凍先ドライブによっては、自動起動しない場合があるので、セットアップドライブの「WS3フォルダー」内の「Binフォルダー」にある「ws32start.exe」アイコンを、ダブルクリックして Win書庫V3.2 を起動して下さい。

最初の起動で、「Win書庫V32」というショートカットが、デスクトップに作成されます。



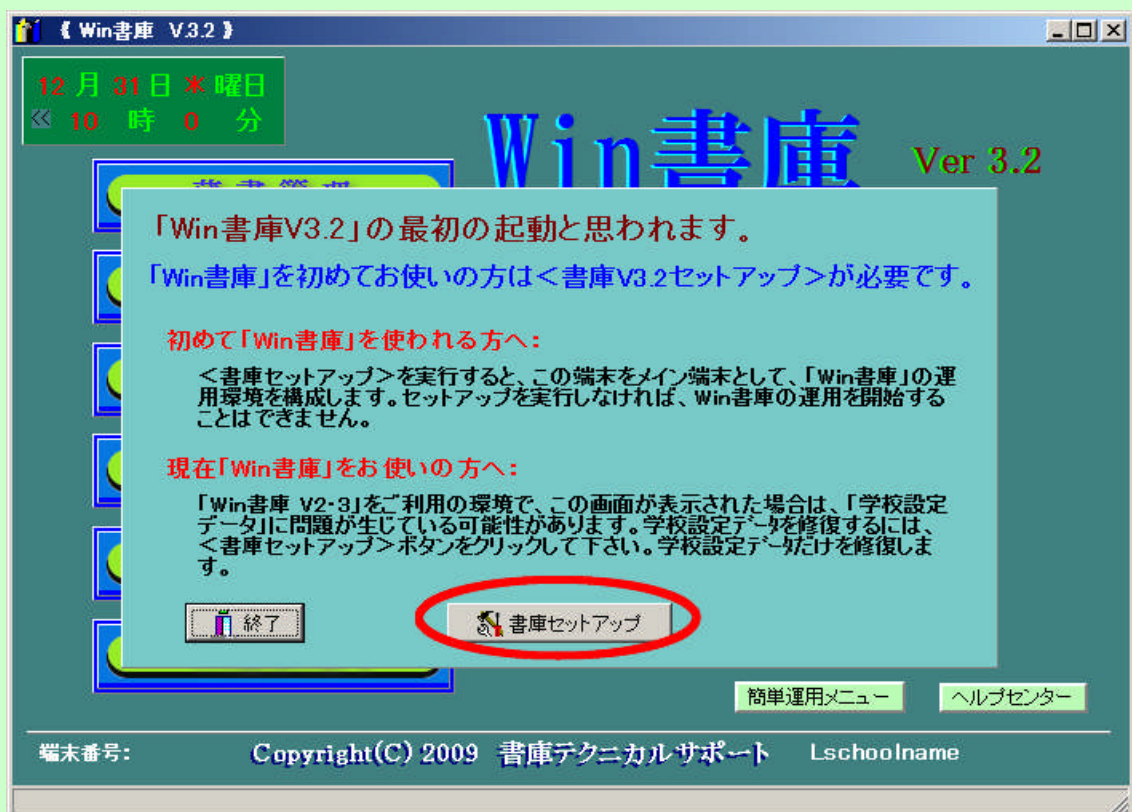
2度目以降の起動は、このショートカットをダブルクリックして下さい。

注意： ショートカットが自動的に作成されなかった場合は、次の手順で作成して下さい。

- ① 書庫スタートメニューで、マウス右クリックします。
- ② 表示されるメニューから、「デスクトップにショートカットを作成する」を左クリックします。

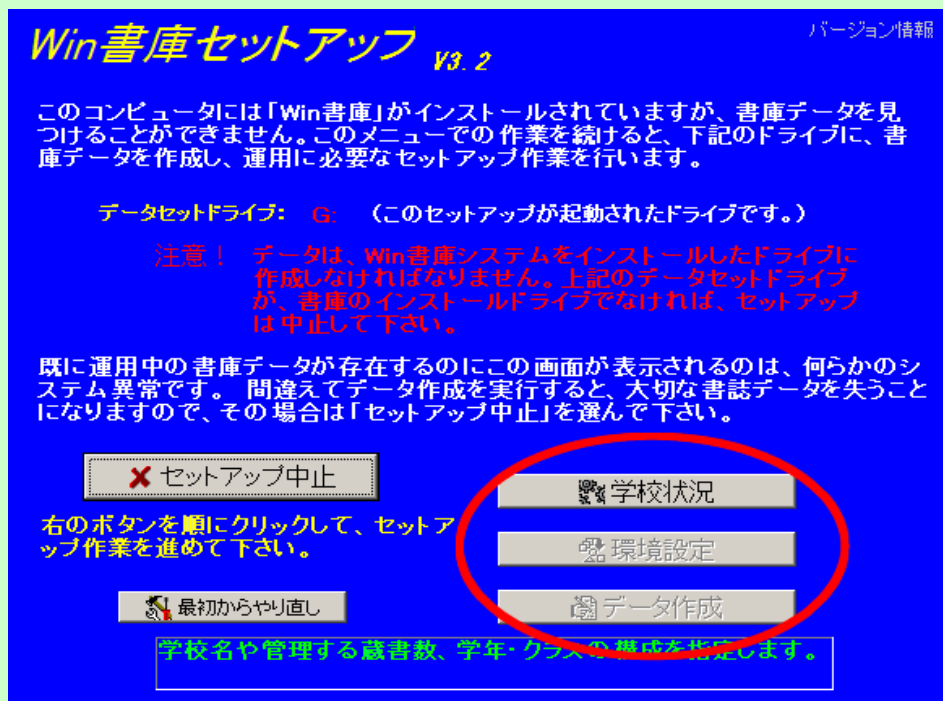
1. 新規セットアップでの最初の起動

新規セットアップした場合、最初の起動時に次の画面になります。



この画面は、Win書庫V3.2をセットアップしたドライブに、書庫データが見つからなかった時に表示されます。新規セットアップでは、当然データは存在しませんので、この画面が表示されます。

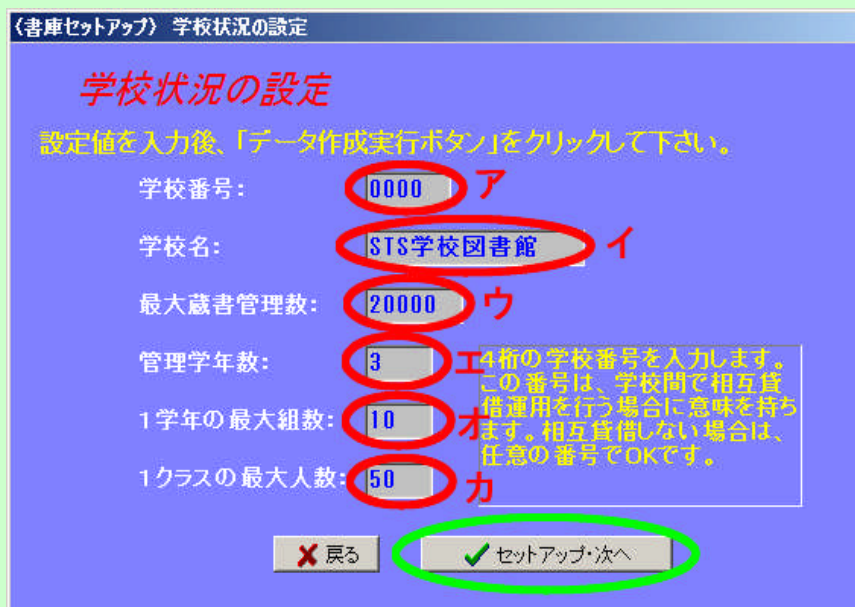
①<書庫セットアップ>ボタンをクリックします。



「Win書庫セットアップ」画面が開きます。画面の説明をよく読んでいただき、右側に3つ並んだボタンを、上から順にクリックして、セットアップ作業を進めていきます。(この画面では、G:ドライブにデータをセットアップしていますが、実際のセットアップドライブは、V3.2を解凍したドライブです。)

②「学校状況」の設定

画面の ア ～ カ の6項目をすべて設定します。



ア. 学校番号は、1～999の任意の番号を付けることができますが、学校間で相互貸借などを行う予定がある場合は、予め学校番号を決めておく必要があります。

ウ. 設定可能な最大番号は99999です。

エ. 最大6学年まで管理できます。

オ. 最大99組まで管理できます。

カ. 最大999人まで管理できます。

注意： 組数・組人数にかかわらず、1学年で管理できる最大利用者数は、**999人** です。

設定できましたら、<セットアップ・次へ>をクリックします。

③「環境設定」の設定

ふたたび「Win書庫セットアップ」画面に戻りますので、<環境設定>ボタンをクリックして下さい。

- ア. マスターユーザー名を入力します。(半角英数字 4文字以上です。)
- イ. ウ. マスターパスワードを入力します。(半角英数字で、アとイに、同じものを入力して下さい。)

ここで設定した「ユーザー名」と「パスワード」の組み合わせは、すべてのセキュリティロックを解除できるものですので、管理には注意が必要です。

環境設定 ここでは、書庫運用に必要な最低限の設定を行います。詳細の設定は、個々のメニューで行うか、{環境設定}で行って下さい。

マスターユーザー名: マスターユーザーは、Win書庫の全てのメニューを利用できるユーザーです。

マスターパスワード: パスワードの確認入力:

初期設定ではパスワードは無効になっています。認証を有効にした運用を行うには、{環境設定}(メニュー){ユーザー認証の設定}でメニュー毎に認証の有効・無効の設定を行って下さい。

受入書店:			費目:	
コード	書店名	割引率(%引き)	コード	費目名
1.	<input type="text" value="大阪書店"/>	<input type="text" value="5"/>	1.	<input type="text" value="公費"/>
2.	<input type="text" value="名古屋書房"/>	<input type="text" value="0"/>	2.	<input type="text" value="私費"/>
3.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	3.	<input type="text"/>
4.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	4.	<input type="text"/>
5.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	5.	<input type="text"/>

書店と費目の設定は、後で行うこともできます。また、6番目以降の設定は、{環境設定}で行って下さい。

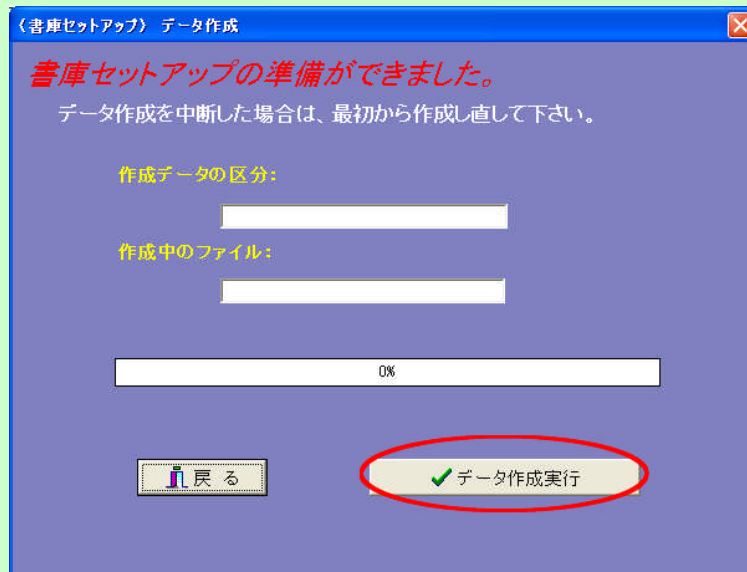
管理者ユーザー名を入力します。半角英数字で入力して下さい。

「書店・割引率」と「費目」を設定して、<セットアップ・次へ>をクリックします。

参考： 詳細な環境設定は、後で「書庫メニュー」の {環境設定} から行います。

④ 「データ作成」の実行

セットアップ条件の設定が終わりましたので、いよいよ「書庫データ」を作成します。



<データ作成実行>ボタンをクリックすると、データ作成が始まります。

プログレスの進行が止まったように見える場合がありますが、処理に時間がかかっている為です。また、黒い画面が表示されますが、これも正常な処理です。

処理の最後に、ISBN辞書が解凍されて、データセットアップは終了です。

データ作成作業が完了すると、次のメッセージボックスが開きます。



※ 他の画面に隠れて見えない場合があります。Windowsタスクバーの ws32finit をクリックして、前面に表示させて下さい。

※ まれに上記メッセージボックスが表示されず、システムが停止したようにみえる場合があります。この場合は、Ctrl+Alt+Delete キーを押し、「タスクマネージャー」を起動して、「アプリケーション」タブを開き、<ws32finit.exe>を強制終了させて下さい。Win書庫V32データのセットアップは既に完了しています。

※ セットアップ途中で、何らかの問題が発生した場合、最初のセットアップ画面に戻ります。その場合は、画面左下のコメントを読んで、対処方法を確認して下さい。(多くの場合は運用に支障のない問題です。)

Win書庫セットアップ V3.2

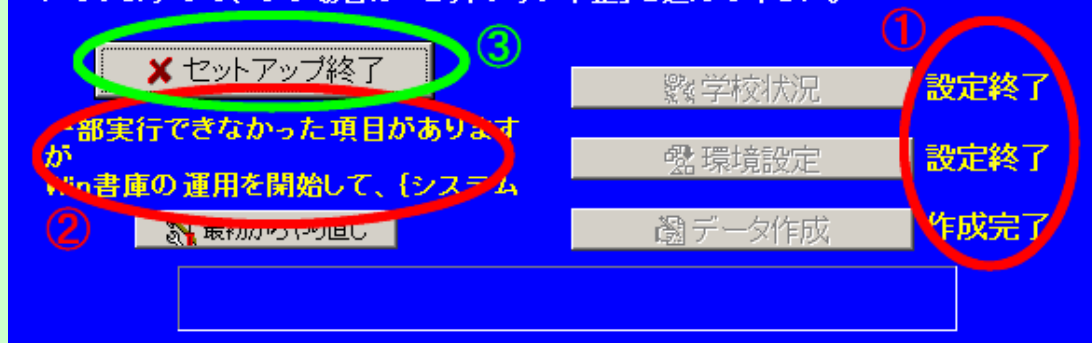
バージョン情報

このコンピュータには「Win書庫」がインストールされていますが、書庫データを見つけることができません。このメニューでの作業を続けると、下記のドライブに、書庫データを作成し、運用に必要なセットアップ作業を行います。

データセットドライブ: G: (このセットアップが起動されたドライブです。)

注意! データは、Win書庫システムをインストールしたドライブに作成しなければなりません。上記のデータセットドライブが、書庫のインストールドライブでなければ、セットアップは中止して下さい。

既に運用中の書庫データが存在するのにこの画面が表示されるのは、何らかのシステム異常です。間違えてデータ作成を実行すると、大切な書誌データを失うこととなりますので、その場合は「セットアップ中止」を選んで下さい。



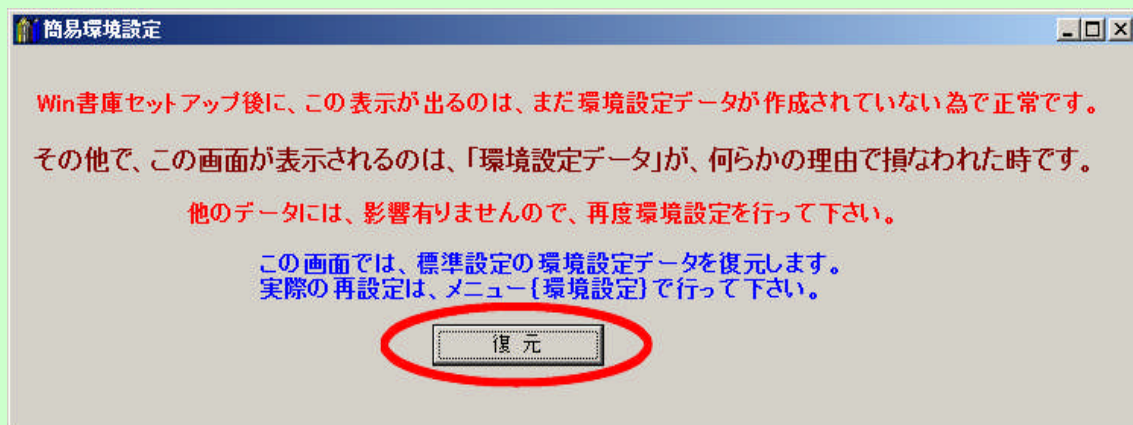
①の3項目が、「設定終了」「作成完了」と表示されている場合は、セットアップ作業に問題はありません。

②問題の対処方法が表示されます。多くの場合は、Win書庫メニューの {システム管理} {ログ閲覧} で、セットアップログを確認して下さいというメッセージです。

③<セットアップ終了>をクリックして、次に進んで下さい。

⑤「端末環境」の設定

データ作成が終わると、新規セットアップでは次の画面が開きます。



<復元>ボタンをクリックして下さい。「端末環境の設定」画面になります。

端末環境の設定 詳細な端末環境の設定は、{環境設定}で行って下さい。

端末番号: 0(メイン端末) **ア**
 他の端末と重ならない番号を設定して下さい。0番は、メイン端末です。

バックアップドライブ: F: **イ**
 メニュー終了時にバックアップするドライブ名を指定して下さい。

バックアップスケジュール: 毎回 **ウ**
 1端末運用の場合は<毎日>、多端末運用の場合は、他の端末と重ならない日程を指定して下さい。設定変更は、次回の起動から有効です。

簡単運用メニュー: 優先しない **エ**

インフォメーション: 低学年タイプ **オ**
 利用するインフォメーションメニューのタイプを指定して下さい。

背景画像: 標準の背景画像を使用する **カ**

変更中止 更新登録

この画面では、現在操作しているコンピュータだけの運用設定を行います。

ここで設定したデータは、このコンピュータのローカルドライブ (C:)に

WS3LENV

というフォルダーを作成して、そのフォルダーの中に保存されます。

ア. Win書庫V3.2をセットアップしたコンピュータは、必ず「メイン端末」に設定して下さい。ネットワーク接続して運用する端末は、1番以降の番号で、重複しない設定にして下さい。

イ. このコンピュータで書庫データのバックアップを行う場合に、ドライブを指定して下さい。指定したドライブが存在することと、十分な空き容量があることを確認して下さい。

参考： 蔵書管理数とバックアップに必要な容量

蔵書管理数	必要ディスク容量
5000 冊	15 MB
10000 冊	25 MB
30000 冊	70 MB
50000 冊	120 MB
100000 冊	250 MB

ウ. バックアップスケジュールは、イ. でバックアップする設定にした場合に設定します。1端末での運用なら「毎回」、複数の端末で運用する場合は、各端末でのバックアップが、同一日に行われないように指定して下さい。

エ. 書庫の通常メニュー画面に、常に簡単運用メニューを表示するかどうかの設定です。簡単運用する場合は「優先する」にして下さい。

オ. 生徒に開放する検索端末で使用するメニューを指定します。「低学年」タイプは、小学校での運用を想定しています。

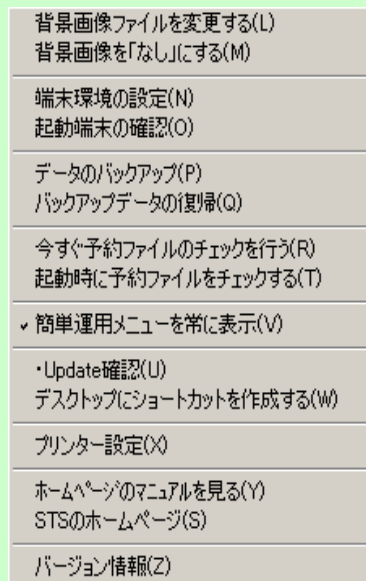
カ. メニュー画面に背景画像を表示するかどうかの設定です。

⑥「メニュー画面の背景画像」の設定 ※必須ではありません。

⑦<更新登録>をクリックします。



Win書庫V3.2のメニュー画面



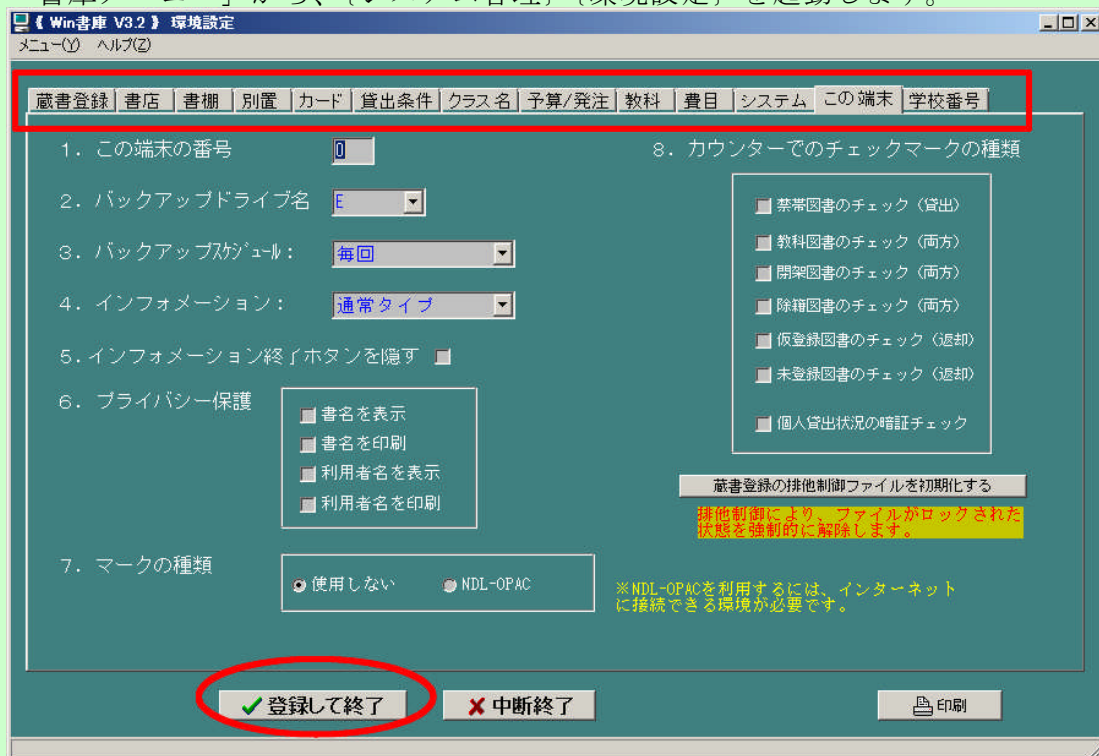
マウス右クリックで表示される設定メニュー

以上で、Win書庫V3.2のインストール及びセットアップ作業は終了ですが、詳細な「環境設定」はまだ行われていません。正式に運用を開始する前に、必ず環境設定を行って下さい。

2. 詳細な {環境設定} を行う

既に「簡易な環境設定」は行いましたので、最低限の運用は可能ですが、最初に詳細な設定を行っておくことをお勧めします。

「書庫メニュー」から、{システム管理} {環境設定} を起動します。



{環境設定}には、たくさんのタブページがありますが、起動直後は、「この端末」タブページが表示されます。

これらのタブの中で、特に重要な項目について説明します。

① この端末

プライバシー保護……カウンターメニュー（貸出メニュー）で、利用者や書名の表示を制御します。

マークの種類……書誌データを「NDL-OPAC」から取得するかどうかを指定します。NDL-OPACを利用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

② システム

システム情報の設定は、Win書庫の動作に重大な影響を与えます。変更する場合は、十分注意して下さい。

③ 蔵書登録

新着データを更新する…登録した蔵書を、新着情報として利用できるようにします。

④ 書店

計算方法……書店毎の割引率と消費税の計算方法を指定します。

⑤ 貸出条件

夏休み指定日……夏休み前の特別貸出開始日を指定します。

冬休み指定日……冬休み前の特別貸出開始日を指定します。

春休み指定日……春休み前の特別貸出開始日を指定します。

⑥ 認証の設定

Win書庫の初期状態では、各メニューの「認証」は無効です。認証は、メニュー毎に設定可能です。必要に応じて設定して下さい。

メニューバー {メニュー} から「ユーザー認証の設定」を選択。

◇ 初期設定では、「マスターユーザー」のみ登録されています。ユーザー設定の表示では、「一般」となっていますが、マスターユーザーは、無条件で管理権限を持ちます。

◇ 左側には、メニュー毎の認証設定一覧が表示されますが、初期状態では、どもメニューにも認証は設定されていません。

◇ 実際の認証は、「ユーザーの権限」と「メニューの認証設定」の組み合わせで、メニューを利用できるかどうかが決まります。

次の画面は、現在の認証設定を示したものです。左側に「メニュー側の設定」、右側に「ユーザーの設定」欄があります。



メニュー側の設定： 各メニューに、「認証」を要求するかどうかを指定します。設定する場合でも、認証許可するユーザーを、「一般」か「管理者」かを指定します。

設定は、0・1・2の数値で入力し、エンターキーを押します。

ユーザーの設定： Win書庫を利用するユーザーを登録します。ユーザー名・パスワード・権利を入力します。

権利の設定は、0・1の数値で入力します

※ 一番上のユーザーは、自動的にマスターユーザーとなり、全ての認証を解除できます。

設定を変更した場合は、<メニュー認証更新>ボタンをクリックして登録します。

参考： 初期状態では、{環境設定}以外のメニューには「認証」は設定されていません。この機能は、データのセキュリティとプライバシー保護を目的にしますので、どのメニューに、どのように認証設定するかは、ユーザー側でお考え下さい。なお、メニューによっては、「認証」を設定しなければ利用できない機能があります。（「カウンターメニュー終了」、「貸出状況表示」、「利用状況の表示」など）

参考：「簡単運用メニュー」について

小学校や中学校の図書館の場合、図書館担当者が図書館の業務に十分な時間を当てることができない状況ですが、V3.2の自動書誌登録機能を利用することで、蔵書登録の労力を、ほとんどかけることなく蔵書データ登録が可能になります。この機能の利用条件は、「運用するコンピュータがインターネットに接続可能であること」だけで、費用もかかりません。

簡単運用の基本は {簡単カウンター} です。{簡単カウンター} から本を貸し出したり返却する際、未登録の本の「図書JANコードをスキャン」または「10桁ISBN番号を入力」することで、自動的にインターネットから書誌データを取得し、自動的に蔵書登録を行います。つまり、本を貸し出すだけで、蔵書登録ができるのです。

この機能を補完する為に {簡単環境設定} で、「個別館書誌情報」（ローカルデータ）をあらかじめ登録しておきます。個別館情報は、常に同じではないので、時々変更する必要がありますが、これにより、ほぼ蔵書登録の為のデータ入力が必要なくなります。